

●ルポ 小山乃里子の

華麗なる挑戦〈4〉

スキューバダイビング

奮戦記

これがホントに珊瑚礁なら



水の底っておもしろいよ  
みんなも潜ってみたら？

スキューバ・ダイビングに一日入門した翌日、私は嬉しさのあまりF.M.大阪でとても無邪気に喋っていた。

「あの、ホラ、口から出る管みたいなもの、えーと、なんだっけ、そうそうスノーケルってのくわえてね、足にはこんな大きいひれをつけて、それでね背中に15kgもあるっていうガスボンベをしょっちゃって……」

次の日、早速ハガキが来た。

「へえーっノコさんは海の中にガスボンベを背負って入るんですか。そいじやあついでにお鍋とお米を持って行って御飯たいたらどうですか」

バカ、バカ。だからすぐに空気のタンクと言い直したじゃないか。

しかし、こんなハガキもあった。

「私も今年からスキューバ・ダイビングを始めました。このところ土曜になるのを待ちかねて海やら湖へ出かけています。

ノコさんが始められたなんて嬉しいわ。だけどノコさんは私より10才位上だと思ってたのにホント、気は若いんですねえ、感心しちゃった。」

何が感心しちゃっただ。感心というのは、私を教えて下さった先生方が私のサマを見て「へえ、ホントに初めてですか。うん、いけますよ。三級の認定書をあげてもいいくらいだ」

とのたもうた時のことをいうのである。

しかし、門坂センセイも、村上サンも、寿司屋の大將大原サンも、私が次の日にガスボンベなどとほざいたという事を知ったら、ただちに、先のコトバをひっこめるだろうなあ。なんと教えがいのないウストラバカ、なん

ていいながらビールでも飲むんだろうなあ。あー、つらいつらい。でも、でも、私はいっしょうけんめいやったのですぞ。ではその奮闘記を、いざ。

ところは神戸市長田区の西代・神戸市民プール。

土曜日が学科、日曜日が潜水実技で一セットになっていて、六月から九月まで計八回の講習会がもたれているのだが、私は、学科の方は出席出来ず、実技の方だけみんながやっている一隅をお借りしてやらせてもらったのである。今年初めての水着姿、ついでにちよつと陽にやいておこう、なんて考えてたら、

「それじゃあ、早速ですが、これ着てみて下さい」  
とウェット・スーツとやらを着せられてしまった。こ

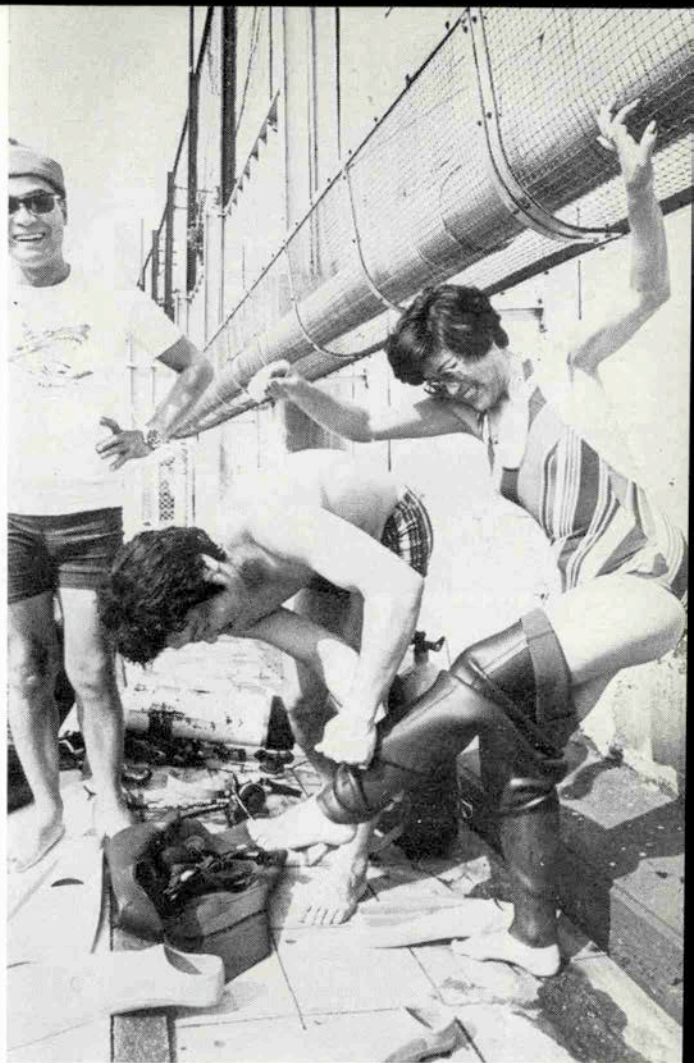
れがまた仲々身体にすっぽり入ってくれない。ふわふわのウレタンに傷がついちやあいけないから、ゆるりと手のひらで押し上げるようにするんだけど、足のつま先すら仲々出てきやしない。身体が乾いているからですわと、実に簡単に胸もとからプールの水をそそぎ込まれ、私はヒヤーと飛び上りかけたが、スーツの重みで飛び上れなかった。ようやく、なんとか上着も身につけ、フェイスマスクとスノーケールでとりあえずプールの中へザブン。ああ、足ひれもつけておりました。

最初に教わったのは、鼻をつまんでチンと鼻をかむみたいなおこなを、これ耳抜きとって大事なことです。誰でも水に深くもぐっていくと耳がつーんと痛



サンゴ礁の海にでも潜ったような気分で泳いでます。ノコはまるで人魚のようでしょう。





とにかくキツイですよこのウェットスーツ。一生けんめい着せるのが雷沢さん。左が指導の門坂センセイ。そして水着姿もカッコイイノコタンでアリマス。

くなっただけがある筈。その時にこの鼻をつまんでぐつときばるやり方で耳に空気を送るのだけど、フェイスマスクをはずしてやると上手くいくのに、つけてやると、どうも上手くいかない。何故だろうとしばし考えたら、なんとなんとマスクのゴムで出来た鼻の形と私の鼻にかなりのきよりがあり、つまめどもつまめども我が鼻まで屈かないんだワア。

次にやったのはスノーケールで水の下にもぐって、その時息を止め、水の上に先が出たら思い切って息をはき出すやり方。水がスノーケールの先から面白いほど勢いよく飛び出してくる。嗚呼、これだけでも知っていたら、タヒチの海水をあんなたくさん飲み込まなくても良かったものを。

続いてはマスククリアーなること。マスクの中にたまった水を水中で抜く練習。マスクの上を軽く押えて、鼻からゆっくり息を出すのです。あわてちゃだめですよと

いう声が聞こえたか聞こえないうち、私は思い切りプールの水を鼻の穴から吸い込んでいた。スノーケールをくわえたままワァー痛い。なんてわめくものだから、何を言ってるのかさっぱりわからない。プールのふちにつかまったらまた空を見上げて苦しさを耐えたのでありました。

そのあとようやく水面遊泳をやることになった。手は自然のまま身体の横に流し、フィンをつかって足だけで泳ぐのである。上体を少しそり気味に一けり二けり、なんとスイスイ身体は水すましのよう動く。これはすぐOKが出た。もぐってスノーケールから水をはき出す分もなんなくやれた。

講習を受けていた人達が、みんな名前を呼ばれて一人一人三級の認定書をもたらすのをながめ、ふと気がつくプールには我々がいるのみ。

「さあ、そいじゃタンクかついで入ってみましょうか」

三人がかりで背中にタンクを取りつけてくれた。割に軽いもんだなあと思っていると、三人が一斉に手を離れた。私は思わずよろけてこけそうになった。

「このまんま足ひれを水面に平行にして、フェイスマスクを軽く押えて、ハイ、飛び込みましょう」

神サマ仏サマ。私は目をつぶって一、二、三で飛び込んだ。身体が一直線にプールの底までとどいた。ちょっともタンクが重くない。やっぱり耳がツーンと痛い。さっき教わった耳抜きをやってそれからおもむろに泳ぎ出した。耳が少しジーンとするだけで、あとはきわめて快適である。底であぐらを組んでみようとしたら足ひれがじやまをしてうまくいかなかった。ここが本当に珊瑚礁な

らどんなに素敵だろう。想いはバリ島やタヒチの海へと走り、小さな美しい魚を追いかけてスイスイと泳ぎまわる私の姿が目に見えよう。

ようやく一息つこうと水面から顔を出したら飛び込んだり上って来ない私に、心配してかあきれてか、先生方は煙草をふかしていた。ヨージ、今年中になんとか本格的にマスターしてみよう。

指導／村上忠一（関西潜水連盟兵庫支部長）

門坂正人（大阪経済大学教授）

大原一成（寿司「おちよほ」主人）

協力／富沢俊二（アコウベ・ダイビング・ショップ）

写真／藤原保之・森田純三



一人前のダイバーぶりをみせるノコ、水底であぐらをかいてみようとしたのですが、できませんでした。



# 105年迎えた 永田良介商店

□風見鶏のある欧風家具の新社屋完成



上はオリエンタルホテルの盛大なパーティ風景。下は永田夫妻を囲んで神戸の専門店の社長さん大集合。感謝の言葉をのべる永田良一郎社長と典子夫人

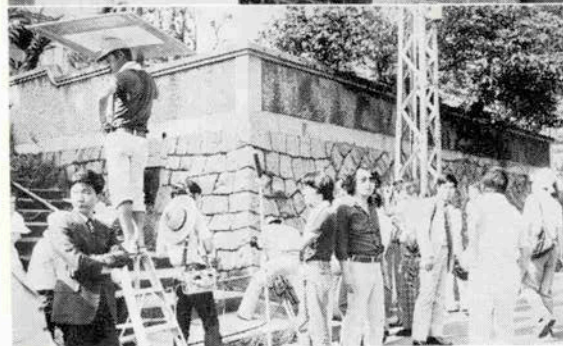
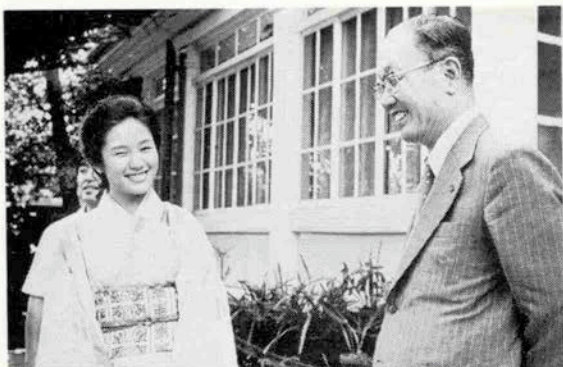
今年、神戸開港100年を迎えた神戸港だが、それに匹敵する105年の年月を経た欧風家具の「永田良介商店」（四代目永田良一郎社長）がこのほど神戸大丸前に4階建の新社屋を完成。10月1日に始まるNHKの朝ドラ「風見鶏」のテーマを先取りしたかしないかはさだかでないが、「風見鶏のある、欧風家具店（永田良介商店）」が、7月5日大丸前にOPENした。

神戸の国際港都との歴史と同じく初代永田良介は岐阜出身のフロンティア。明治初期、居留地の洋館に出入りして船大工を友人に持つを幸いに、本国へ帰国する西洋人の家具を預り、ワイマール市で売り商いをし、日本で初めての欧風家具商売を思いついた。二代目の養子良介も、見込まれただけあって、神戸商工会議所役員、市会議員迄する大活躍。神戸の洋家具ことはじめを定着させた。三代目の善従は、初の欧州研鑽の旅に向い、その基礎を充実。四代目は生粋の神戸っ子。終戦後から再建して、東京の東急百貨店に出店、神戸木工センター初代理事長として活躍、神戸家具の名を、日本に宣伝した。

7月5日は神戸オリエンタルホテルで二五〇人近い名士を招いてその本社屋完成に、神戸に根づいて105年「神戸の欧風家具」のしにせの貫録を示した。

神戸ロケも晴天に恵まれて  
NHK朝の連ドラ

## “風見鶏”順風に 撮影も快調



宮崎市長も激励にかけつけてなごやかかつスピーディに北野町でのロケが進む。原作者杉山さんも新井さんの“ぎん”を見物に。

「いつもはジーパン姿しか見えないんだけど、扮装したらふっくらとして、僕たちの母親の世代らしい女性になって……いい感じですよ」と、原作者の杉山義法氏。「夢中で4週間やってきました。『ぎん』は演れば演る程、素晴らしい女性で、一生懸命『ぎん』になるうとしてる毎日です。」と新井春美さん。

10月スタートのNHK朝の連続テレビ小説「風見鶏」は、今、快調に録画が進行中だが、この7月12日～14日には物語の主要場所でもある北野町とか海岸通のロケも行なわれ、いよいよエンジン全開といったところ。神戸ロケはぎんと弟の正一がふるさと太地の海をあとにして神戸に来、北野ハウスに住みつき様々な人間に出合うという設定、激動の大正・昭和を背景に、神戸でパン職人のドイツ人と結婚、外人たちからわれらの母と慕われた「マダム・ハイブリット」こと松浦ぎんの一代記もの。神戸とは切っても切れぬストーリーとあって、炎天下のロケに宮崎辰雄市長も激励にかけつけた。

また、10月1日からさんちか広場でNHK朝のTVドラマ「風見鶏」のキャンペーンを開催することを予定しており、ここ当分は風見鶏旋風が吹き荒れそうだ。



## ★ファッション・ラリー78

アンヌ・マリ・ベレッタ、ドロテビス、タン・ジュディセリ、ミック・マックなどといえはばいずれ方らぬパリ・プレタポルテ界の旗手たち。その新進気鋭のクリエイター達十余人のシヨウとディナーシヨウを中心としたパリ・パッケージングが、エールフランス・日本航空の共同特別企画として発売される。

●特定のバイヤとジャーナリストだけしか見られない、しかもパリプレタポルテ界でセンセイシヨウナルな話題を集めているデザイナーたちの作品を一話を集めてシヨウを開く。とともビッグな企画がファッション・ラリー78である。11月21日、26日の6日間、毎夕5時開演。ルネ・ゴリアール演出により100点に余る作品のシヨウが、ジャルダン・シャンゼリゼ(シャンゼリゼの庭の意)で開かれる。エマスエル・カーン、ケンゾー、カステルバジャックといった日本でも名声と人気を誇り、エイターのシヨウも現在交渉中とか。

パッケージングのパーティーとしては、8日(5泊)、9日(6泊)又は5泊、10日(7泊)のパーティーが予定されており26万円から32万円前後の旅費で行ける予定。



会場となるジャルダン  
シャンゼリゼ



リュカ  
アンゼロ・タルラッティ  
ルネ・ゴリアール  
ベレッタ

世界の注目を集めているクリエイター達の熱っぽい作品と深まりゆく秋のパーティで出会うなんて……ファッション関係者ならずともこの絶好のチャンスは見逃せない企画。

## ★ファッショングループ特別セミナー バラエティ豊かな内容で大盛況

●ファッションの革新期に望まれるものと題して、ファッショングループ東京の第2回特別セミナーが大阪の輸出繊維会館で6月20日(日)、21日(火)の二日間に行われ開催された。21日は尾原善子さん、クロワッサン編集長岡田章さんによる講演二題とスライド「77・78秋冬ヨーロッパプレタポルテニース」の上演。21日は永川英夫さんによる「これからの社会とファッション」と題したユエアタぶりの講演と通産省生活産業局繊維製品課長川崎次さんと東京メジャーレー岡阿美子さんによる「アパレル産業の将来とその展望」と題した対談。というプログラム延べ五百名以上の大阪・神戸でファッション関係に携わる人々が熱心に聴講した。

## ★かきりなくエレガントに、ゴージャスに

6月24日三越においてファークートフロアシヨウとディナーパーティが行なわれた。毛皮本来の味を大切にしたいオーソドックスだが内味で勝負という感じの新作トップファッションが25点、ファークーディネイトなども考えられるといわぬブルー構成の中で紹介された。日本で初輸入というブルーインディゴミンクも登場。お値段の方も限りなく高価なものからお手頃まで幅広く、シヨウの後にフロア一ぱい30点の毛皮が揃った姿は壮観であり生活の中に毛皮がとけこんできた昨今を思わせた。



この冬は毛皮で

## ★25才を過ぎたら……

キャリアウーマンのカジュアルウエアを目指してJ・A・V・Aから新しいブランドハバンテ



“25”は着こなして生きる現代派

## ★ニットと花と音楽と

クラシックカーニバル協会が主催するファッション・シンクサート「魅惑の宵」が8月28日午後6時30分から大阪毎日国際サロン(毎日会館7F)で開かれる。



サノユリコさん

ヤポーというコー  
ダイネイトで展開  
されます。  
問い合わせは06/  
213/0786  
J&C企画

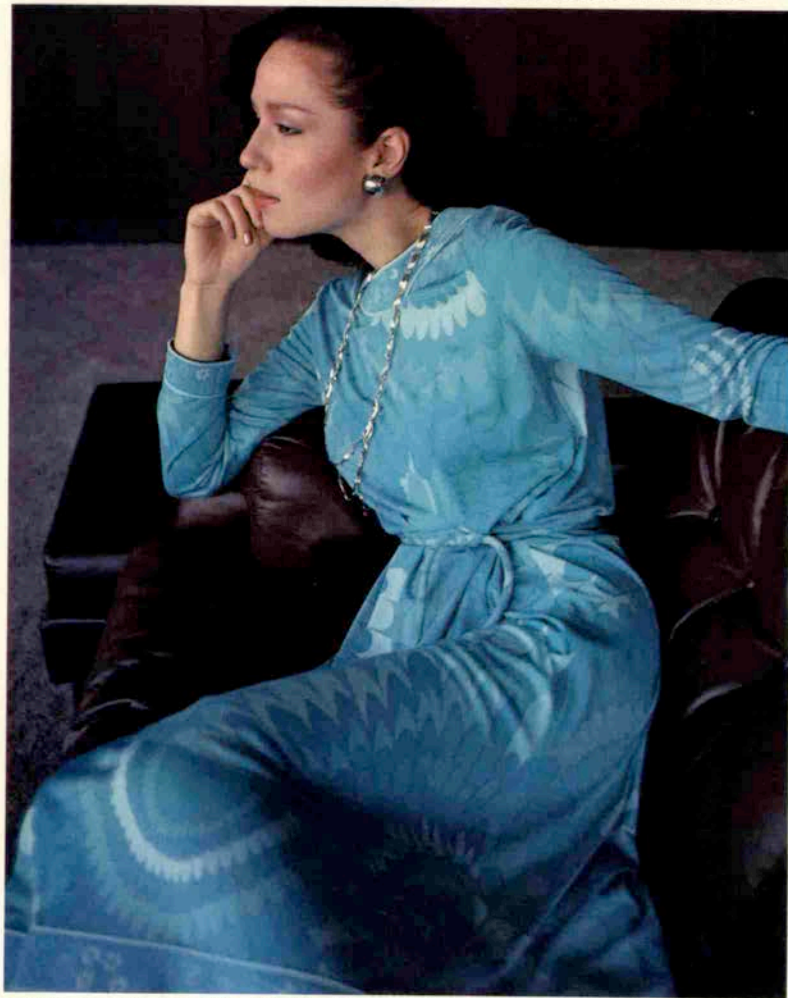
## ★ファッションショーへのご案内

あの独特の熱気に触れてみたい方のために気軽に楽しめるシヨウをご紹介します。  
●第16回コマツヤ・ファッションショー  
9月3日(土) オリエンタルホテル2F  
オリジナルを中心に年々着実な人気を重ねているコマツヤのシヨウです。  
同時にプレタポルテの展示会も併催されます。

## ●桑砂丘子オリジナルファッションショー

9月17日(土) 西屋ルナホール  
P・M 11:30 / 3:30 入場5000V

MORE CHIC. MORE BEAUTIFUL

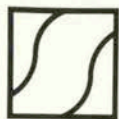


■アベラード・ベッシーとは イタリアの世界的デザイナー。セリザワが独占契約にて日本におとどけます。

*la boutique charmerite*

セリザワ

秋の歌が聞こえてきたら、新鮮な女らしさを準備したい。  
アベラード・ベッシーのアーティスティックな世界——。



serizawa

本店＝神戸市生田区三宮町3-18



Flower Print への挽歌



ホラッ、笑ってごらん 心から  
そうだ 伸ばして 足を……  
この夏の思い出をいっぱい  
ふくらませた花々たちよ。  
君への送別の歌が  
潮騒とともに聞こえてくる。

■写真のワンピースは大丸前本店に  
あります。

婦人服飾とおしゃれ小物

**スギヤ**

本店/トアロード/078 (331) 3436  
事務センター/078 (241) 2291.2

六甲店 / 078 (871) 2733  
池袋店 / 03 (987) 0567  
梅田店 / 06 (372) 4877  
宝塚店 / 0797 (71) 5033  
阪急神戸店 / 078 (321) 3821  
心斎橋店 / 06 (245) 1316  
芦屋川店 / 0797 (31) 8193  
宇都宮店 / 0286 (35) 0111  
渋谷店 / 03 (476) 1650  
大津店 / 0775 (25) 5405

ふれあふところを、いま伝えて



美しい装い ゆとりの“時”

■三宮で生まれ三宮で育って60年  
時計 / 宝石 / 貴金属

神戸 **三宮時計店**

センター街 さんらびビル 京町店

■ファッションと芸術のブティック

**オムラ**  
OMURA

K089/三宮らららラザ2 ☎391-3786

■時計 / 宝石 / 貴金属

大阪 **あおむら**

三番街店 鞋の街店



POËTIQUE



紫の花ごころ



KOBE

まさ

- 神戸 さんプラザ店  
さんちか店
- 大阪 千里阪急地下街店  
阪急ファイブ  
西武高槻店  
泉北バンジョ店
- 宝塚 阪急ファミリーストア店
- 大津 西武大津SC店



## 珈琲館ちんく

〒651 葦合区琴緒町5丁目2-1 アワジビル1F  
TEL 222-2043 ★営業時間 AM 7 → PM 8

珈琲は  
豆の質、焙煎の仕方、  
水の質、抽出湯の温度、  
この四つで味は決まると  
云われます。  
けれど 私共は今一つ  
そこに 心をつけ加えたい  
のです。  
心の渴きをそつといやして  
くれるちつぽけな店——  
“ちんく”  
まだまだ若輩の身でござい  
ますが私どもの  
精一杯心をこめた  
香り高い一杯だての  
ドリッブコーヒーを  
味わっていただきたいと  
思っています。





アンド&神戸20  
街角に神戸百年の  
歴史の襞を探る

小松左京

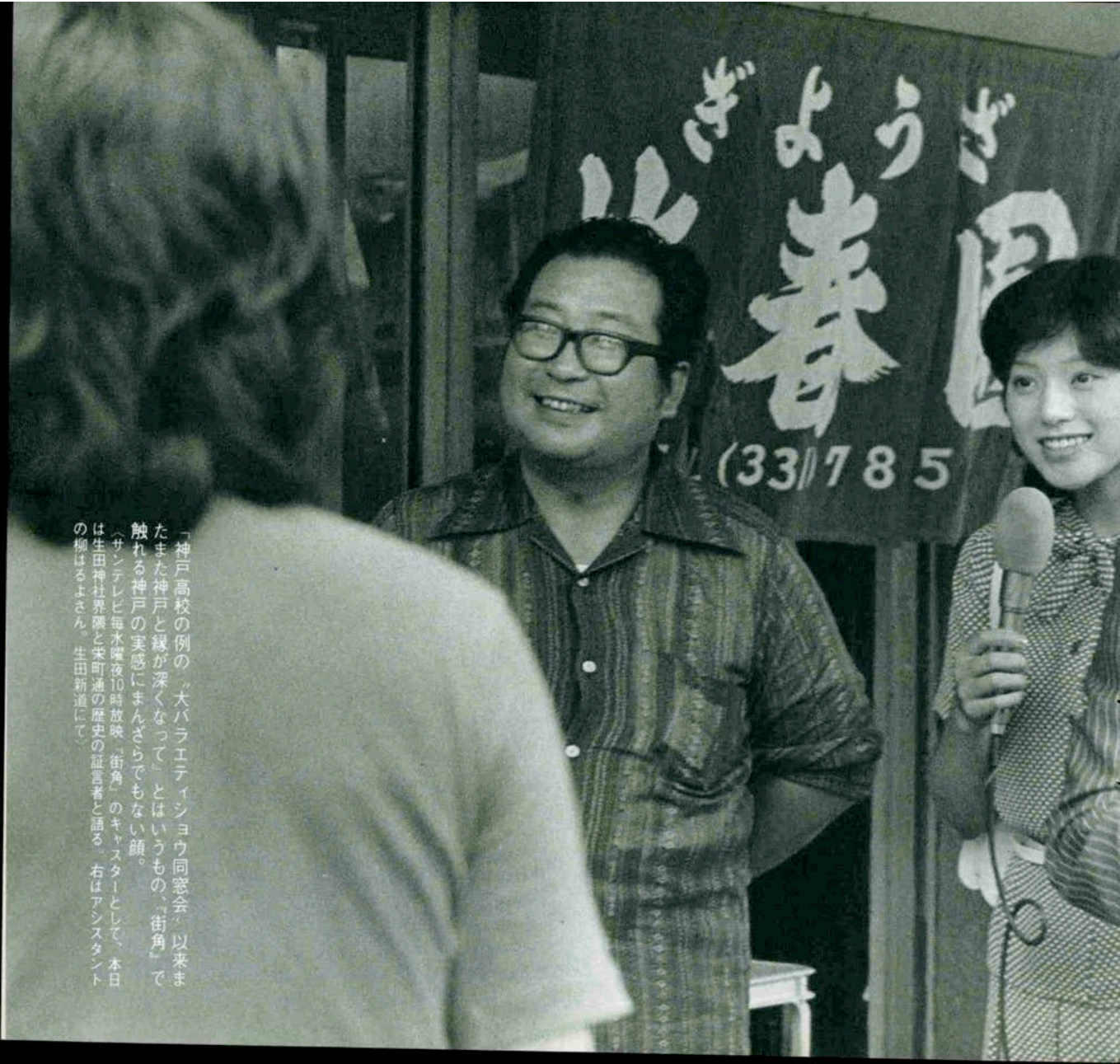
作家



撮影・米田定蔵

どうも雨男であるらしい。今日も傘を片手に街へ出てみる。(栄町通にて)





「神戸高校の例の、大バラエティショウ同窓会、以来またまた神戸と縁が深くなって」とはいうもの、「街角」で触れる神戸の美感到まんざらでもない顔。


「サンテレビ毎水曜夜10時放映「街角」のキャスターとして、本日は生田神社界隈と栄町通の歴史の証言者と語る。右はアシスタントの柳はるよさん。生田新道にて」





「話題が、とに角、豊富な方で」と、担当の島崎プロデューサー。神戸一中の49回生である小松氏。「この辺（生田筋）も昔はよう来たもんや」と独特の早口、ふくみ笑いでテンポのある取材が続く。





SF作家 豊富で回転が良すぎるくらい  
の知識と頭脳の持ち主、ちよっぴり太ってはいるけど  
笑い顔がなんとも言えない魅力となり、  
そしてシャンソンなどを素敵に唄う人  
でもあります。日本沈没ならぬお酒に沈没も  
たまにはいいのではありませんか？  
とに角 多忙な人でもある。

（生田新運ボルドーで、まんが家のたかはしもうさんと一輪に）